



人類に
奉仕する
ロータリー

パワー浜松ロータリークラブ週報

クラブテーマ: 全員参加で、奉仕の理想を実現しよう!

パワー浜松ロータリークラブ (2016-17年度 会長: 近藤 雅彦 幹事: 田淵 邦彦)
〒430-7733 浜松市中区板屋町 111-2 オークラクトシティホテル浜松 4307 号室
Tel: 053-452-0800 Email: info@power-hamamatsurc.jp
http://www.power-hamamatsurc.jp

創立: 2002年10月22日 認証伝達式: 2003年4月29日 スポンサークラブ: 浜松中RC

第668回例会 4月4日 AM7:30~8:30

オークラクトシティホテル浜松3Fチェルシーの間

- 司会: 池田龍郎 原田道子
- 点鐘: 近藤 雅彦
- ゲスト: 静岡第7分区ガバナー補佐 小杉昌弘様
同事務局次長 小野貴寿様
小林健様(御三方共に浜北RC)
- ビジター: 浜松 RC 海野育男様
- 議事: 社会奉仕部会「植物としての松の魅力」

〈出席報告〉

会員数 80名(内 出席免除会員1名)

出席数 60名 出席率 75.95%

前々回出席率 81.01%

■会長挨拶

近藤雅彦会長: 久しぶりに日本人横綱となった稀勢の里が大逆転で優勝し、大いに盛り上がったのはご存知の通りだと思います。場所の後半で稀勢の里がけがをして、最後にけがを押しての優勝ということで感動された方も多かったのではないかと思います。

私も本当に感動しましたし、随分前になりますが、貴乃花がやはりけがをおして優勝した場所を思い出しました。例の小泉首相が「痛みを耐えてよく頑張った!感動した!!おめでとう!!」とスピーチした場所です。

ただ私はちょっと気になったのは、けがを押して出場することが美德のようになってはいけないのではないかと感じています。けがをして出場するというのは選手生命を左右することもあります。先ほど貴乃花の例でも、その後は休場が続き、結局、優勝はできず引退となりました。貴乃花も稀勢の里も超一流のアスリートですので、その判断は尊重されるべきだと思いますし、私たち素人がどうこうということはないと思います。

一般的な話としてけがをしたら治療に専念するというのが当たり前で、あまりそのことを美化しすぎて、後に続く方たちにプレッシャーにならないようにする方が良いのではないかと思います。

もっとも私も勝手なものでWBCで日本チームがアメリカに行った時に丁度、日本ハムの大谷選手がオープン戦に出場していたのを見て、今からでも日本代表に参加できないのかと勝手なことを考えましたので、あんまりえらそうなことは言えません。

多分、大相撲が大好きで詳しい方もいらっしゃると思いますし、そうではないんだというご意見の方もいらっしゃるかもしれませんが、一つの意見としてお聞きいただければと思います。

■幹事報告

田淵邦彦幹事: 本日レターケースに入っている配布資料は、ロータリーの友4月号・ガバナー月信4月号の2点です。

一昨日の地区協議会にご参加されました皆様、休日をさいて次年度の準備のためにありがとうございました。この場をおかりしましてお礼申し上げます。

■ガバナー補佐ご挨拶

小杉昌弘ガバナー補佐: 本日は、2月20日(月)に開催いたしました国際ロータリー第2620地区静岡第7分区のインターシティ・ミーティングが皆様のおかげで無事終了いたしました御礼に参上いたしました。近藤雅彦会長はじめ皆様よろしくお祈りいたします。



私共にとりまして「あのエキサイティングな1日」は生涯忘れ得ない1日となりました。これは「パワー浜松 RC」の皆様お一人おひとりのご理解とご支援によるもので改めて御礼を申し上げます。ありがとうございました。

折角ですので、当日の興奮をちょっとふり返ってみたいと思います。

1. IMのテーマ「女性が輝くロータリー」が良かったです。そしてパネルディスカッションでは、鈴木道代 SBS 学苑本部部長を指名したのが良かった。報告書の4頁～5頁をごらん下さい。女性陣大活躍でしたが、パワー浜松 RCからは奥山恵理子も良かった。特別良かったと思います。ここに掲載されている写真は会が始まる前の別室でのミーティングの会場にカメラマンが潜入して撮ったものですが、みんな笑顔で最高のキャラクターを予感させてくれますが、当日の活躍は皆様のご承知の通りです。

2. パネルディスカッションのテーマは「女性活躍社会とロータリークラブの女性会員倍増について」でした。

生子ガバナーも挨拶の中でロータリーが人類に奉仕するにはロータリアンの数を増やさなければ良い奉仕活動は続かない。会員増強には若い人や女性が重要です。3年後にこの第7分区から地区初の女性ガバナー安間みち子さんが誕生します。これは日本で6番目の女性ガバナーで、今後女性ロータリアンの活躍を大いに期待する…と言われました。

静岡第7分区は2017年2018年の2年をかけて現在33名の女性会員を倍増、即ち66名にさせるようあらゆる手段を使ってパネルディスカッションのパネラーの熱烈な言葉、熱弁に応じていかねばなりません。各クラブでご努力いただきたいと存じます。

パワー浜松さんは現在6名ですので増員6名をよろしく願いいたします。

3. そして大懇親会も良かったですネ。420名の登録で340名が参加してくれました。オークラホテルの「平安の間」のあの広間にぎっしりと全員が着席して会を盛り上げてくれました。各テーブルには第7分区の8ロータリークラブのメンバーがうまく配分されてIMの目的の重要な1つである会員の交流が十分に計られたと思います。報告書の6頁・7頁をご覧ください。みんな笑顔、笑顔です。ほんとうに良かったです。

4. 最後にこの報告書の表紙を飾っています「大盆栽 杜松」の展示です。ご案内の通り2016伊勢志摩サミットで海外からの参加者そして日本人の間でも高い評価を受けたものですが、この作品を皆様に鑑賞いただけた事も良かったです。



結びに当たりまして、本日の公式訪問を皆様に大変温かく迎えて頂きまして心から感謝申し上げます。私共 小杉・水口・小野の3名は、これまでの4回の訪問で得られましたパワー浜松さんの立派な例会運営、会員の皆様のご活躍の様子に大変刺激されました。これからの糧にさせていただきます。

本日は皆様ありがとうございました。

■委員会報告

次年度幹事(後藤達朗副幹事): 4月2日に地区研修協議会が行われました。長谷川会長以下17名が参加してまいりました。お忙しい中、一日ありがとうございました。会員拡大のための公共イメージ向上とポリオ撲滅まであと少しということで、募金活動を積極的に行うことが次年度のテーマとなっています。

15周年担当委員会(青山素久委員長): 本日より記念式典および懇親会の出欠席の確認を始めています。万障お繰り合わせの上ご出席願います。また、本日例会終了後、記念事業グループとの打ち合わせを事務局で行います。

■スマイル

近藤雅彦会長・田淵邦彦幹事: 浜北ロータリークラブ小林健様 本日は早朝より当クラブの例会にお越し頂きありがとうございました。今年度当クラブも創立15周年記念事業として「松」をテーマに掲げ植栽・植樹事業をしております。小林様の卓話をお聞きして改めて松の魅力を再認識させていただきました。今後、

小林健様の益々のご活躍とご健勝を心より祈念申し上げます。

福地三則会員：英会話ロボットの工場下見で中国のアモイに行って来ました。上海と香港の間にある丸い島で、多くの工場がありますが、中国人にとってはリゾート地です。海は非常にきれいで対岸に台湾の金門島が見えました。アモイは気候も良く、人々も穏やかな感じで良い所でした。

堀内善弘会員：メンバーの書家金山先生が呉竹荘で4月10日夕刻、講演会をされます。ロータリアンが他のところでもご活躍される、それも応援したい。全く私自身の純な気持ちのスマイルです。皆さん、一緒にしませんか。

原田道子会員：4月1日雨の中、アパートの地鎮祭をやりました。次男の会社名義のため、次男一家全員と関係者20名くらいの出席でした。神主さんは高校の同窓会長で同じ時に同窓会役員をやっていた人なので、久しぶりに楽しい地鎮祭になりました。ああ、また借入増えちゃったなあー。

小澤邦比呂会員：小川様、本日はご入会おめでとうございます。素晴らしいロータリーライフを願っています。メンバーの皆様、本日はありがとうございました。

小澤邦比呂会員：4月2日（日）松村ガバナー年度の地区協議会が開催されました。出席された関係者の皆様お疲れさまでした。また、米山記念部会に出席して頂きました藤田会員ありがとうございました。

■入会式

入会者 小川善嗣さん
推薦者 小澤邦比呂会員

小澤邦比呂会員：小川さんとは仕事を通じてのご縁です。小川さんは自分の成長に対し非常に貪欲な方です。当クラブにおいて将来必ず必要になる方であると確信しています。入会式のためにスーツを新調されたことが小川さんの気持ちを表していると思います。皆さんどうぞ小川さんをよろしく願います。

小川善嗣さん：秀盛（しゅうせい）機工株式会社、常務取締役浜松支店長、小川善嗣と申します。本社は愛知県北名古屋市にあり、1970年創業で浜松支店は1987年に開設し30年経過しました。業種は機械器具

設置工事業です。

ロータリクラブの存在は存じ上げておりましたが、私には恐れ多いクラブと考えておりました。

が、小澤様から入会を勧められ、その場で何の迷いもなく入会の意思を伝えました。理由は3つあります。①人格者である小澤様から勧められたこと。②このクラブに入れば自分を律し高めることができるといわれたこと。③例会が朝行われること。でございます。

私は多くの方と交流し、自分自身の人格を向上させ、会社を永続させたくこのロータリークラブに入会を希望しました。皆さまご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願いいたします。



近藤雅彦会長：オリエンテーションでお話した際、ロータリーに入会する目的は、自分を律するためと聞き、改めて私も自分を律してやっていかなくてはと思った次第です。小川さん、どうぞよろしく願います。



■議事

「植物としての松の魅力」

担当：社会奉仕部会



堀内善弘部会長（以下、堀内）：無理を言って浜北ロータリークラブ会員の小林さんにお越しいただきました。まずは自己紹介をお願いします。
浜北 RC 小林健様（以下、小林）：浜北区において、植木の卸売りと比較的大きな木をベトナム・台湾・中国・香港に輸出しております。堀内さんとの出会いは、浜北文化センター近くにある森岡の家の保存活動がキッカケです。

堀内：今年度私たちパワー浜松 RC は、磐田在住の樹木医である正木先生にアドバイスを頂き、松の植林・植樹活動をしています。小林さんはあまり自分のことを語らない方なので、代わってお話します。小国神社の鳥居の脇にある立派な赤松は、小林さんからの寄贈によるものです。先ほどからお話に出ています伊勢・志摩サミットで展示された「杜松」についてお話頂ければと思います。

小林：そもそも杜松と松の字を使っていますが、実際は松ではなく、ネズミサシという木です。ネズミサシの名の由来は、枯れて固くなった杜松の葉をネズミの巣の前に置くと痛がって出てこられないということから、ネズミサシと名がついたといわれています。

この杜松の木は、もともと近くの盆栽家の方が所蔵していたものですが、高齢になり、梯子を使

用しての手入れが困難になり、私に委ねて頂いたものです。私が鉢にあげてみたところ、東京の日比谷花壇の名古屋支店長さんがどこからか聞きつけて見に来て、サミットの国際メディアセンターに飾り、世界のメディアの方々に日本の魅力を発信するにはうってつけだと、即座に貸して欲しいといわれ、運んだ次第です。

堀内：オークラホテルの玄関脇に展示されましたが、当初はロビーでという話だったと聞いていますが、ロビーではなく、玄関脇になったエピソードをお聞かせ下さい。

小林：浜名梱包さんに相談した結果、斜めに傾け台車に乗せて移動すればロビーへの設置は可能と判断したのですが、ロビー床下には様々な配線コードが埋まっており、台車のコロにかかる重量から考えると床材を割り、配線コードへも悪影響を及ぼす可能性が高いことからロビー展示を断念し、玄関脇に展示したという経緯があります。
堀内：逆に屋外に展示したことで多くの人の目に触れることとなり、大変驚いたり感激したりした人も多かったと聞いています。

小林さんが経営されている一十園さんにお邪魔した際、いろいろな木を拝見しましたが、普段どのような気遣いをされていたらっしゃるのかお話を頂きたいと思います。

小林：堀内さんがご覧になった木は、輸出用の木です。輸出を始めるキッカケは、バブル崩壊後、ゴルフ場や住宅の庭に植える需要が激減し、どうしようか考えているときに、外国人は日本の盆栽や庭園といった自然と調和する文化にあこがれのような気持ちをもっていることを知ったことです。日本人が作る盆栽や庭園は、他のどの外国の人とも違い、木の梢の先端まで意識が行き届いていて、全体で見ても気持ちいいバランスをとっているんですね。

堀内：私たちは松をテーマに今年度活動しているのですが、小林さんから見た「松」の魅力とか「松」への思いについて、お話頂ければと思います。

小林: クロマツと言えば、二条城など松が見事に植わっていますし、お客である各地の大名をお迎えする部屋の襖も松の絵が用いられています。松というのは常緑樹で常盤木の代表であって、庭木の王者、とにかく昔から縁起が良いといわれています。海岸端の潮風による塩害を受け、他の木が枯れてしまっても松類だけは枯れずに生育します。塩害にも耐え、雪にも耐え、結局は繁栄の象徴ということで松の木がいろいろなところに植えられたという風に思っています。

堀内: 盆栽というとテーブルの上ののる程度の大きさをイメージするのですが、展示された「杜松」のように大きなものも盆栽というのでしょうか？

小林: 盆栽の定義については、私も良く分かっていないので、色々な人に聞いてみたところ、盆というか器に入れてある木は、すべて盆栽と言っていいのではないかと思っています。もちろん、展示会等に出品する場合は制限があります。

今までにないような大きな器を作って、東京オリンピックの会場で飾って頂けるような盆栽を作りたいと思っています。

浜北緑化木センターのすぐ西側に全国各地から集めた、日本でも移動できる木の中では No. 1 ~ No. 10 くらいが私の圃場に 있습니다。興味のある方はぜひ来ていただいて観て下さると良く分かると思います。

堀内: 最後に今後の活動とか夢についてお聞かせ下さい。

小林: 2020 年に 2 回目の東京オリンピックが開催されます。これは国家的なイベントです。私も自分の仕事を通して何かお国に貢献できないかと常々考えております。移動できる巨大な盆栽を東京八重洲駅の南側とかそういうところに芸術的で美しく、誰が見てもいいなと思えるものを展示したいと思っています。外国の方に日本の文化の深さを理解して頂き、また、日本の皆さんにも和の文化っていいなと再認識してもらえようなものを作っていきたいと思っています。

堀内: 小林さんの今後ますますのご活躍をお祈りいたします。本日は、どうもありがとうございました。



(浜北 RC 小林健様)